

横川っ子だより



いじめられる側にも原因？

12月4日から10日は、人権週間です。「人権」とは、一人ひとりが生まれたときから持っている「自分らしく生きる」権利のことです。権利って少し難しいですが、つまりは、みんな生まれたときから「自分らしく生きていいですよ」とされているのです。みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達のよいところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な一週間です。

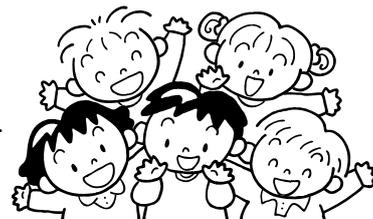
横川小では、11月10日から17日まで教育相談を行いました。その中で、「いじめられた」という人がいました。悪口を言われた、仲間はずれにされた、叩かれた、物を隠されたなど、いじめられた人にとっては、とても辛く、苦しいことです。

いじめた人は、よく「いじめられる側にも原因がある」と言います。

私は、いじめられる側には原因がないと思っています。いじめられる側にも原因があると言う人は、自分がやっていることを正当化するための言い訳だと思っています。また、同じクラスの人がいじめられているのに、いじめられる側にも原因があるからだ、見て見ぬふりをしている人もいます。それは、勇気のない人の言い訳だと思っています。

いじめは、いじている人が100%悪いです。

平成25年8月28日、半田市小中学校児童会生徒会サミットで、「スマイル宣言」を発表しました。



わたしたち半田市小中学生は、いじめる人にならず、いじめられる人をつくらず、いじめが起きる環境を生み出さないために、次のことを学校生活の「こころがまえ」として定め、守ります。そして、保護者、先生、地域の方々と協力し、明るく楽しく笑顔のあふれる学校をつくっていくことを誓います。
(裏面掲載)

あなたは認められています。あなたは愛されています。あなたには価値があります。あなたは大切な存在です。「やめて」と言える強い心を持ちましょう。「やめよう」と言える勇気を持ちましょう。そして、横川小からいじめをなくしましょう。

スマイル宣言

(半田市小中学校児童会生徒会サミット宣言)

わたしたち半田市小中学生は、いじめる人にならず、いじめられる人をつくらず、いじめが起きる環境を生み出さないために、次のことを学校生活の「こころがまえ」として定め、守ります。そして、保護者、先生、地域の方々と協力し、明るく楽しく、笑顔のあふれる学校をつくっていくことを誓います。

1. 相手の気持ちを考えて行動しましょう
2. 相手のよいところを探し、互いに認め合いましょう
3. 一人で悩まず相談しましょう
4. 相談しやすい環境を作りましょう
5. 「やめて」と言える強い心を持ちましょう
6. 「やめよう」と言える勇気を持ちましょう
7. 命を大切にしましょう



平成25年8月28日

ぜんしゅうちゅう

全集中で がんばりたい!

11月16日、企業が開発した民間の宇宙船「クルードラゴン」が、日本人宇宙飛行士の野口聡一さんら4人を乗せて打ち上げられ成功しました。宇宙船は、国際宇宙ステーションにドッキングし、野口さんらは、そこで6ヶ月滞在し科学実験などを行います。宇宙の商業利用が本格化する時代の始まりとして注目されています。



野口さんは、55歳です。これまでに、2005年と2009年に宇宙に行っており、今回で3回目になります。

野口さんは、「怖さや不安よりも、挑戦することで新たな利益が得られる喜びの方が上回る。新しい挑戦をすることで、新しい発展や明日への希望が得られる。これが自分が挑戦を続ける意味」と話していました。

私は、このニュースを誇らしく感じました。手にとれる宇宙を、夢でつながる宇宙を、野口さん自身の挑戦で示してくれました。宇宙での長期滞在は、宇宙食が話題となっています。宇宙食に求められるのは、「常温で1年半以上保存できる」「食中毒を起こさない」「飛び散らない」などです。野口さんの宇宙からのメッセージが楽しみです。